

令和7年度 社会教育委員の会議（第4回） 議事要旨

◇日 時

令和7年10月7日(火) 午後7時～午後9時

◇会 場

生涯学習センター 2階 学習室2

◇出席者

- 【委員】 小田委員長、杉山副委員長、原田委員、鎌田委員、小澤委員、中島委員、市川委員、山内委員、原委員、古地委員、吉川委員、増田委員、高島委員、
- 【事務局】 勝又教育監、古谷生涯学習課長、勝俣主幹、高橋係長、小林主査

◇会議次第及び内容（○は委員の発言）

1 開 会 （事務局）

2 委員長あいさつ

3 協議事項

（1）今回の諮問について（進行：NP0 法人みらい建設部 宮坂氏）

①内容・今後の計画

事務局から諮問内容及び経緯、今後の予定を報告

②協議

諮問内容「諮問内容社会教育を推進する団体のあり方について」意見交換を実施。（テーマごとホワイトボードを使用）

1. 地域における社会教育関係団体について

…社会教育や社会教育団体について定義を再確認したのち、イメージする地域の社会教育団体を洗い出し。団体ごとの状況(増減)共有。

【地縁】 ←		→ 【志縁】
・子ども会 ・老人会 ・体育委員 ・自治会 ・青年会 ・民生委員 ・保護司会 ・自主防災	・PTA ・婦人会 ・子ども食堂 ・育成会 ・おやじの会 ・消防団 ・交通安全協会 ・交通指導員	・スポーツ少年団 ・合気道 ・推し活 ・商工会 ・JC ・ユニの会 ・わんぱく遊び塾（童親会） ・倫理法人会 ・ライオンズクラブ ・ロータリークラブ

2. 望ましい社会教育団体のあり方について

…各団体の状況を確認すると、「社会教育団体」全てが右型下がりではなく、個々でみるとそうではない事例も見られた。現状とのギャップを再確認するため、まず「社会教育団体の理想のあり方」について意見を求めた。

【理想的な「社会教育団体のあり方」】

親友（家族）を誘える。/負担感がない。楽しい（中の人も外の人）
 /人と人がつながる。/情報を共有できる。/多様な世代が集える。/地域・人から必要とされる。/誇りをもってできる。/誇りをもってできる。
 /自由に企画・運営ができる。（関係団体とのしがらみがない。）/

感謝される。/受け入れが寛容/5・10年先団体の未来が語れる。/やきもちをやかない。/目的・目標が共有されている。/無駄にお金がかからない。/入退会が自由/個人の大切が大切にできる。/互いに認め合える。/優れた知識・技術・知恵が伝承される。

3. 理想の姿に向けて実現したいことについて

…団体・地域・行政の立場から、実現したいことや実現した方がよいことについて意見出し。

【団体】	【地域】	【行政】
・知名度アップの活動 ・活動内容の広報 ・行政と連携(団体間) ・承認 ・この指とまれ方式(団体運営) ・子どもに関係する(同目的) ・思いがあって面倒を引き受ける人 ・変化に対応する姿勢	←サポーター性(外とのつながり) ・活動を認める姿勢	・広報のサポート(ウェブ) ・細かいことに口を出さない ・運営相談 ・社会教育コーディネーター ・モノ、カネ、情報の支援 ・教育そのものの目的の発信

次回、「家庭教育を支援する教育環境の整備」について意見交換を行う。

4 報告事項

(1)「市民活動の集い」について

テーマ：「つながりで培う地域の教育力(仮)」

内 容：「基礎研修(講演)＋地域の社会教育活動の事例紹介」

講 師：国立教育政策研究所 志々田まなみ氏(R2 招聘講師)

日 程：令和8年2月1日(日)13:30～16:15 (12時集合準備)

5 その他

・各種委員会の会議報告等

・吉川委員より「体力/運動能力調査 参加者募集」について情報提供

・「社教情報」No.93号を配布

・次回日程について

第5回開催日：11月27日(木) 19:00～ 生涯学習センター 2階 学習室2

6 閉 会 (杉山副委員長)